

## 大園小学校の教育活動への気付き（保護者記述）への見解

### ○長期休業中の課題としての「キュビナ」の活用について

→ キュビナは解答後すぐに正解・不正解が確認でき、つまづきがわかるという利点があります。多くの学校が長期休業中の課題としてキュビナを活用しており、長崎市教育委員会からも積極的に活用するよう指導もあっております。キュビナと併せて紙媒体での課題の有効性についても理解しております。子どもたちの長期休業中の「主体的な学び」の実現へ向け、今後も検討を重ねてまいります。

### ○体操服ゼッケンの廃止について

→ 個人情報保護の観点から、運動会前に職員でも議論を重ね、今年度の運動会から廃止といたしました。また、本校の廃止後ではありましたが、長崎市教育委員会から「不特定多数の来校者がある『運動会』のような場においては、来年度以降はゼッケンを使用しない。」旨、各学校に指導があっております。今後もゼッケンは使用しません。御理解をお願いします。

なお、中学校においては、体育担当教員が多学年・多学級の指導にあたることから、引き続きゼッケンを使用するとのことです。

### ○インフルエンザ等における学級閉鎖について、感染予防について

→ 学級閉鎖を実施する際は、当該学級の欠席状況や出席者の健康観察をもとに学校医へ相談し、その結果を長崎市教育委員会へ報告して教育長決裁を経て、学級閉鎖の処置をとります。概ね2日間の期間となります。

2学期末に一学年の罹患者が多い状況がありましたが、次の日が終業式であったこと、出席者に様症状者があまり見られなかったことから、学級閉鎖は見送りました。ただし、そのような状況を踏まえ、全校児童の接触をできるだけ避けるため、終業式はリモートで実施いたしました。

なお、感染拡大防止についても家庭のご協力もあり、インフルエンザについては他校と比べても本校は落ち着いている状況です。今後も、丁寧な手洗いの励行、教室の換気、必要に応じたマスクの着用等、感染拡大防止に努めてまいります。

### ○歓迎遠足の実施について

→ ここ数年雨天中止であったこと、全校児童が一緒に利用できる場所がないことから、今年度の実施は見送ったとの引継ぎを受けております。次年度においては、現在実施の方向で場所や日程等の検討を重ねているところです。

### ○性教育について

→ 主に保健指導や3年生以上の保健の授業において、発達段階に応じた内容で実施しているところです。2学期には、学校保健委員会が中心となり高学年児童と保護者向けの「性教育講演会」を実施していただきました。今後も指導法等工夫しながら、指導を継続してまいります。

### ○保護者との連携について

→ 必要に応じて、担任だけでなく管理職も相談の場に立ち合わせていただいております。また、直接校長室へ来室される保護者の方もいらっしゃいます。今後も「開かれた校長室」であり続けたいと思っています。

いずれにしましても、子どもたちの健やかな成長には、学校と家庭の連携・協働は不可欠です。顔が見える校長・教職員、連携・協働できる学校・家庭でありたいと思います。

**感謝のお言葉や励ましのお言葉、協力する旨等もたくさんお寄せいただきました。本当に感謝です。家庭・地域とともにあり、家庭・地域に愛される大園小学校であるよう、努めてまいります。**

長崎市立大園小学校

校長 渕上卓也（深謝）